



# ひろせホーム通信 2022年1月

千葉県小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）ひろせホーム



謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

2022年の干支は壬寅（みずのえとら）。「壬」の文字は生命を宿すという意味を持ち、「寅」は草花が伸びようとする状態を表します。今年は新しいことが華々しく芽生え、やがて未来に向かって成長する、そんな一年になりそうです。

「一年の計は元旦にあり」との言葉があります。物事は最初が肝心、しっかりと計画を立てようという意味ですが、もちろん計画を立てたらそれで終わりではありません。

計画を実行に移し、随時結果を確認しながら状況に応じて計画を見直す。これを繰り返して少しでも前進することが重要です。何事もうまくいく訳ではない。それでも努力を続けなければならない。立ち向かう壁は大きくとも、頑張って乗り越えていきたいと思えます。



## ひろせホームの家族

Lちゃん・・・小学2年生（8歳）の女の子

Rちゃん・・・幼稚園年少（4歳）の女の子

KJくん・・・3歳の男の子

YIちゃん・・・1歳の女の子

MYちゃん・・・高校3年生（17歳）の女の子

MHちゃん・・・現在、生後4カ月の女の子

ホームのお父さん、お母さんと、おばちゃん（お父さんとお母さんの実子）、おじちゃん

KOくん（中3男）、YUちゃん（小6女）・・・おじちゃんとおばちゃんの実子

### ◆10月2日

緊急事態宣言が解除されたので、みんなで茨城県つくば市に向かい、お目当てのお店で釜揚げうどんを食べました。帰路、犬のテーマパークにも立ち寄りしました。ワンワン大好きKJくんは大はしゃぎでした。

### ◆10月14日

Rちゃんが通う幼稚園の運動会。お父さんとお母さんが応援する中、Rちゃんは行進や体操、かけっこ、ダンスなどを頑張りました。帰宅したRちゃんは大きな参加記念メダルを首から下げて、満面の笑みを浮かべていました。

### ◆10月21日

家の中で上手にひとり歩きするようになったYIちゃん、ついにファーストシューズを購入。初めて子どもに靴を履かせた時は嫌がって逃げようとしたり直立不動で動かなくなるといった話を聞いていましたが、YIちゃんはさほど嫌がらずに靴を履いて歩いていました。

### ◆10月23日

以前ホームで暮らしていたMSちゃん（2歳）が、ママとおじいちゃんと一緒に遊びに来ました。久しぶりに会ったMSちゃんはとても元気で、かなり成長していました。

◆ 11月1日

YUちゃんが、サッカーJリーグのジェフ千葉と大ヒットアニメ「鬼滅の刃」のコラボTシャツを着ていました。人気キャラクターが描かれた特別デザインで、LちゃんとRちゃんが「私も欲しい・・・」。売り切れ必至の商品なので、おじちゃんは次の日、急いで千葉市内のショップまでTシャツを買いに行きました。



©吾峠呼世晴／集英社・アニプレックス・ufotable ©J. LEAGUE

◆ 11月6日

ホームに遊びに来たMSちゃん。彼女の「番長気質」、ゆえ、あおりを食ってRちゃんが泣かされ(笑)、おばちゃんの元に逃げてくるのがたびたび。でも時間が経てば、懲りずにまた一緒に遊んでいました。

◆ 11月12日

お父さんにコチョコチョされ、キャッキヤとはしゃぐKJくんを見て、近くにいたYIちゃんはKJくんのお腹を撫でていました(一緒にくすぐっているつもりかな笑)。スキンシップは子どもの情緒を安定させ、笑うことは脳のシナプス(情報を伝達する神経回路)の増加につながるそうですね。

◆ 11月13日

LちゃんとYUちゃんの小学校で学習参観があり、お母さんとおばちゃんが学校へ。先生の話をしっかり聞いて課題をこなすLちゃんに、お母さんは大感激。ふだんはマイペースのYUちゃんが友だちと交流している姿を見て、おばちゃんはほっとひと安心の様子でした。帰宅後、Lちゃんはお母さんに「お弁当おいしかった！」と感謝の言葉を伝えていました。

◆ 11月14日

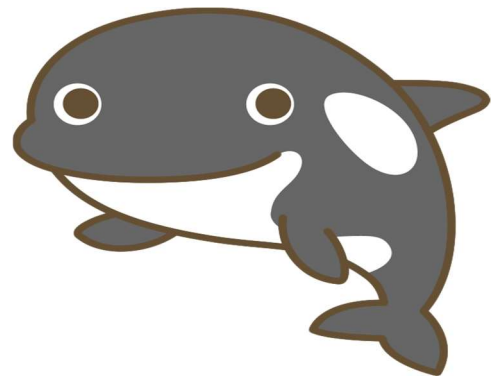
前日に新型コロナウイルスワクチン(2回目)を接種したMYちゃん、この日は38度を超える発熱。一日中しんどそうにしていたのですが、翌日は元気な顔を見せてくれました。

◆ 11月15日

YIちゃんの行動範囲が拡大中。以前は段差を怖がって近づこうとしなかった玄関たたきに降りてみたり、誰もいない浴室に入っていたり。先日はドアが開いていたトイレに一人で入り、便器の中に手を突っ込んで水を触ろうとしていました。好奇心旺盛も困ったものです。

◆ 11月17日、18日

17日はKOくんが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で行けなかった修学旅行の代替旅行として富士急ハイランドへ。早朝の出発でしたが、KOくんは目覚まし時計が鳴る前に起きていました。18日はLちゃんが校外学習で鴨川シーワールドへ。シャチのパフォーマンスが面白かったと感想を話してくれました。



◆ 11月26日

Rちゃんが通う幼稚園でクリスマスお遊戯会。お母さんが見守る中、Rちゃんは音楽に合わせて元気にダンスを踊りました。お母さんによると、Rちゃんはセンターポジションでとても上手に踊っていたそうです。その後、サンタクロースに扮した園の職員から、イチゴが乗ったケーキと木製パズルのプレゼントをもらいました。

◆ 11月30日

補助員やおじちゃん、おばちゃんの実子を含め、ひろせホームのみんなで移動できるように、14人乗りのマイクロバスを購入しました。

すでに中型免許(限定なし)を持っているおばちゃんに加えて、補助員のKRさんも先日免許を取得。間もなくおじちゃんも自動車教習所に通い始めます。



◆ 11月30日

餃子の無人販売で有名な「餃子の雪松」さんから餃子が贈られてきました。「餃子の雪松」さんは、困難な状況にある子どもたちを応援するため、食卓を少しでも明るくしてもらおうと児童養護施設などに餃子を届けておられるそうです。

キャベツの甘みとニンニク、ニラのパンチが際立つ一品。ガツンとした味付けを好むホームの子どもたちと一緒に美味しくいただきました。「餃子の雪松」さん、ありがとうございました。



◆ 12月2日

LちゃんとYUちゃんが通う小学校で向寒マラソン大会が開催されました。マラソンを通じて、2人とも持久力や苦しくても頑張る忍耐力が養われたようです。よく頑張ったね。

◆ 12月3日

何度もホームを取材している新聞記者のKさんが遊びに来ました。この日の晩ごはんの献立の一つが、Lちゃんが学校行事で掘ったサツマイモのお味噌汁。美味しいと言いながら食べてくれたKさんを見て、Lちゃんも嬉しそうでした。

◆ 12月10日

Rちゃんが通う幼稚園のRちゃんが通う幼稚園のクリスマス会。イエス・キリスト誕生の場面を再現する劇を子どもたちが演じ、Rちゃんは天使役を担っていました。

◆ 12月12日

千葉県袖ヶ浦市のテーマパーク「東京ドイツ村」へウィンターイルミネーションを見に行きました。キャンディーやチョコレート、クッキーなど「お菓子」をテーマにした数々のイルミネーションやライトアップ、光と音のショーがカラフルでとても綺麗でした。全体で300万球の電球が使われているそうです。

◆ 12月15日

MHちゃんの3カ月健診。身長、体重とも平均を上回っていました。頬はふっくら、体つきもまるまる。すくすく育っています。表情も豊かになり、かわいらしさが一段と増してきました。



◆ 12月16～17日

YUちゃんが1泊2日で修学旅行。箱根の関所跡、大涌谷、芦ノ湖や富士急ハイランドを訪れたそうです。ホームのみんなに、お饅頭やお菓子などのお土産を買ってきてくれました。

◆ 12月17日

MYちゃんの大学入試の合格発表。スマホで合否を確認したMYちゃん、「合格」の表示画面を見て、喜ぶと同時にホッとひと安心の様子でした。その夜、クリスマスに合わせて地元の子ども食堂から贈られたイチゴのショートケーキをみんなで食べました。

◆ 12月24日

補助員のKRさんも参加し、ホームのみんなでクリスマス会。クラッカーの合図でスタートし、ケーキやピザ、フルーツに舌鼓を打ちました。Lちゃんがクラッカーを鳴らしまくり、その挙句に中のテープがRちゃんの顔を直撃する始末。Lちゃん、はしゃぎ過ぎはダメですよ。



◆ 12月31日

今日は大みそか。と言っても、子どもたちはお父さんお母さんに叱られてべそをかき、KJくんは家中を走り回るなど、いつもの日常が繰り広げられました。夕ご飯に年越しそばを食べて、少しは年の瀬らしくなりましたが。

2021年、振り返ればいろんなことがありました。2022年も、いろんなことがあるでしょう。何事も平和が一番。ひろせホームは2022年も子どもたちの明るい未来を守るために頑張っていきます。

〜〜 ちよつと休憩 〜〜

正月といえばおせち料理。幼かった頃、黒豆はマメに働くこと、数の子は子孫繁栄、ごまめは五穀豊穡など、母がつくったおせちを食べながら一品一品の意味を親からよく聞かされたものです。

しかし当時は、おせち料理は嫌いなものの一つでした。正月早々、なぜ酒のつまみのようなものを食べなければならないのか。三が日の間、やれ肉を焼け、やれ刺身を出せとわがままな要求をしていたものです。

やがて年齢を重ねるにつれて、おせち料理の良さが分かるようになりました。よそでおせちをご馳走になり、母が料理上手であることも気づきました。単に自身の舌が親の味付けに染まっただけかもしれませんが。

あくまで個人的な思いですが、年末年始の帰省の大きな目的は母親の手料理で、その代表格がおせち料理。久しぶりの味に、ほっとするやら昔を懐かしむやら。ただ、親の料理の方が美味しいなんて、妻の前では口が裂けても言えません(笑)。(S)



## 赤ちゃんが泣き止む動画や音楽あれこれ

赤ちゃんの世話をする際、泣き止まない時ほど困ることはありません。抱っこしても授乳しても泣き続けられると、為す術なくただただ嵐が過ぎ去るのを待つだけ……。

そんな時にぜひ活用していただきたい魔法のような音楽や動画があります。たとえグズっていても、あら不思議、ピタッと泣き止みます。いくつか紹介したいと思います。



まずは人気俳優、反町隆史さんの「POISON～言いたい事も言えないこんな世の中は～」。今からおよそ20年前の大ヒット曲です。反町さんが主演したテレビドラマの主題歌で、聴いたことがある人も多いのではないのでしょうか。

実はこの曲、子守歌の代用として育児の世界ではロングヒット中です。印象的なギターのエントロが赤ちゃんに刺激を与えることで泣いている状況を忘れさせ、サビの反町さんの低音ボイスには赤ちゃんの心を落ち着かせる効果があるとされています。

次に、ロッテのキャンディー「カフカ」のプロモーション動画「ふかふかかふかのうた」。こちらは子どものグズり泣きに悩む女性に向けて科学的根拠に基づき制作されたもので、YouTubeで公開されるとわずか41日間で再生回数100万回を突破しました。

ゆるやかな曲調が途中でアップテンポになったり、高めの周波数で様々な効果音が使われていたり。安らぎ感や「ふかふか食感」を表現した愛らしいオリジナルキャラクターも好評。0～3歳児約50人に行った実証実験では、約96%の子どもがこの動画を見て泣き止むという結果が出たとか。



一方、「ハグ～ンのハグハグソング」は、大王製紙の紙おむつブランド「GOO. N (グ～ン)」のプロジェクトの一環で、著名な音楽プロデューサーや映像監督を迎えて制作された動画。ハグによる親子のふれあいとコミュニケーション促進を目指したもので、こちらも赤ちゃんの関心を引く特殊音や視覚効果が随所に使われています。



「ピアノ売って、ちょ～だい」のフレーズが耳に残るタケモトピアノのCMも、赤ちゃん泣き止み動画として有名。音程が上下するメロディラインや変化するリズムに加え、CMに出演する財津一郎さんの声が赤ちゃんにとって心地よい440ヘルツの音域なので赤ちゃんの興味を引きやすいそうです。

このほか、「ヘルシーは好きなことを楽しみながら」のフレーズで知られるゼスプリ(キウイ)のCM、双子の姉妹が歌いながらパフォーマンスを披露するKINCHOの防虫剤「タンスにゴンゴン」CM、お買い物パンダが登場する楽天ポイントのCMといったところも。これらの泣き止み動画、ぜひ一度お試し下さい。

## ウイルス除菌・空気浄化装置を 導入しました

ひろせホームは、子どもたちが安心して暮らせる場所を創出するため、新型コロナウイルス対策として、OA機器販売などを手掛けるレカム（東京都渋谷区）からウイルス除菌・空気浄化装置「ReSPR（レスパー）」を購入しました。

### 室内の細菌やカビに直接アタック

「ReSPR」は、NASA（アメリカ航空宇宙局）が開発した光触媒の特殊技術を活用し、空気中の水分から過酸化水素のイオンなどを発生。これらが空気中に浮遊する細菌やインフルエンザなどのウイルスを分解し、除菌・消臭効果を得ることができます。

一般的な空気清浄機は周囲の空気を吸い込んで浄化するので、物の表面につく細菌やカビ、悪臭には効果が期待できません。しかし、「ReSPR」は壁面、天井や人が直接触れるドアノブ、オフィス機器などに付着したウイルスを除菌したり消臭することができるそうです。

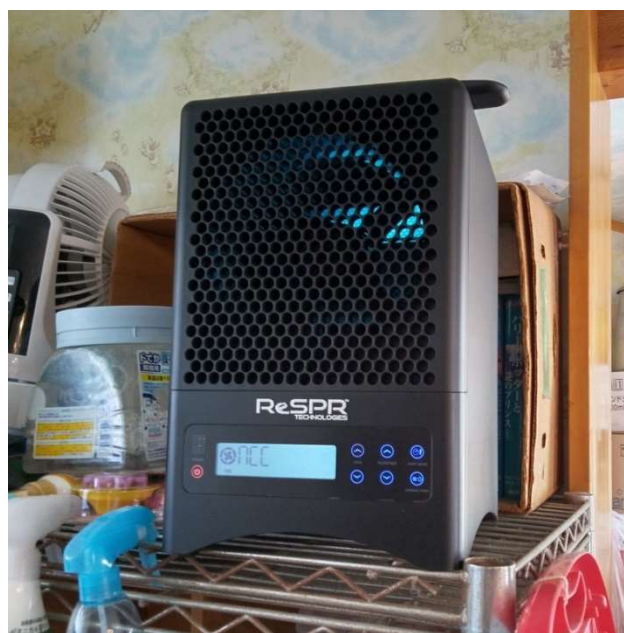
専門機関による「ReSPR」の実証試験では、緑膿菌やMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）といった一般的な細菌が24時間で95%以上除菌される結果が出ました。インフルエンザウイルスの除菌（A型〈H1N1〉が6時間で99・93%低下）やノロウイルスの除去（24時間で99・96%低下）、ガス分解性能による脱臭、食品の鮮度維持に有効なデータもあります。

### オゾンでコロナウイルス不活化

さらに「ReSPR」はオゾン噴霧機能を搭載。コロナウイルスとオゾンに関する検証では、オゾンを発生させることで新型コロナウイルスが不活性化され、人体に影響のない低濃度のオゾンでもコロナウイルスが不活化されるという結果が公表されています。

### 場所を選ばず設置可能

「ReSPR」は小規模空間向けから広大空間向けまで幅広いスペースに対応。オフィスや商業施設、倉庫、工場まで設置可能で、持ち運びできるポータブル型となっています。今回は適用面積279平方メートルのFLEXタイプを購入。高さ33センチ、横幅21センチ、奥行き27センチ、重さも約4・6キロと持ち運ぶことができるサイズです。



ひろせホームでは、千葉県内の児童養護施設や乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホームなどが加盟する「千葉県児童福祉施設協議会」の常任委員会の席上、レカム社による「ReSPR」の説明を聞いて興味を持ちました。後日、担当者がわざわざホームまで来て、その効果や使用方法、メンテナンスなどについて詳しく話をしてくださり、導入を決定しました。

実際に使ってみたところ、取り付け工事が不要でコンセントを差し込むだけですぐに利用開始することができました。作動時の音は気にならないくらいでした。室内の空気もきれいになったように感じます。実際、今冬は感染症のまん延もありません。これからは様々な取り組みを進め、子どもたちの安全、安心を追求していきたいと思います。

## 【婦人公論で紹介されました！】

「婦人公論」(中央公論新社発行) 11月9日号で、ひろせホームが取り上げられました。

里親月間(10月)に合わせたルポ「親と暮らせない子を迎えて 葛藤と喜びと——里親たちの胸のうち」で、東京都内や関西地方で頑張っておられる養育里親の取り組みとともに、当ホーム代表の廣瀬タカ子が里親になるまでの経緯や初めて委託された子どもに関する話、ひろせホームの現況などが紹介されています。

記事の中で養育里親の方々が話されている内容を読むと、「どこの里親もファミリーホームも、同じような課題に直面し、同じような悩みがあるんだな」と感じました。

ただ、マスコミなどで取り上げられた際、「素晴らしい取り組みに頭が下がります」といった感想をいただくことが多いですが、われわれファミリーホームや全国の里親の皆さんは、子どもたちの未来のために全力を尽くすという気概は持っている、自身が行っていることは特別なことではない、と考えているのではないのでしょうか。

難しいことではなく、あくまで自分ができることをしているだけ。その一つ一つは小さくなくとも。今回の婦人公論の記事を執筆されたルポライターの樋田敦子さんの言葉をお借りすれば、「自然体で里親を続けている」ということだと思います。



## 【編集後記】

2021年の世相を一字で表す「今年の漢字」に「金」が選ばれました。日本漢字能力検定協会が先月発表しました。全国から22万3773票が寄せられ、そのうち「金」は1万422票(4.66%)を集めました。

選ばれた理由としては、東京五輪・パラリンピックで日本人選手が多くの「金」メダルを獲得したこと、大谷翔平選手の大リーグMVP受賞や藤井聡太棋士の最年少四冠達成など数々の「金」字塔が打ち立てられたこと、さらには新型コロナ感染拡大に伴う飲食店への休業支援金や給付金など、お「金」にまつわる話題が多かったことが挙げられています。

1995年から始まった「今年の漢字」で、「金」が選ばれたのは2000年、2012年、2016年に続き4回目。実は過去3回もシドニー、ロンドン、リオデジャネイロとオリンピックが行われた年でした。五輪が開催された年は「今年の漢字」も「金」になりやすいようですね。

ちなみに、2021年の2位も五輪絡みで「輪」(1万304票、4.60%)。1位と2位の票差は118票で過去最少だったそうです。3位は「楽」(6165票、2.76%)、4位「変」(5605票、2.50%)、5位「新」(4738票、2.12%)という結果でした。

ファミリーホームの運営に携わり、子どもの未来を守ることに日々心血を注ぐ身としては、誰からも異論が出ずに「幸」が選ばれるような明るい時代が来ることを祈っています。

(ホーム通信担当・柴田恭輔)